

委託訓練の事業実績の分析

委託訓練の事業実績の分析

(予算執行率・定員達成度・就職率)

○ 予算執行率と定員達成度の推移

(単位：人、百万円)

	国の予算(a)		都道府県実施計画(b)		実績(c)		定員達成度		予算執行率	
	定員数(①)	金額(②)	定員数(③)	金額(④)	受講者数(⑤)	金額(⑥)	予算と実績(⑤/①)	計画と実績(⑥/②)	予算と実績(⑥/②)	計画と実績(⑤/④)
21年度	9,550	1,912	8,453	1,764	6,121	1,188	64.1%	72.4%	62.1%	67.3%
22年度	9,550	1,824	8,783	1,815	6,280	1,209	65.8%	71.5%	66.3%	66.6%
23年度	9,550	1,595	7,996	1,560	5,707	1,142	59.8%	71.4%	71.6%	73.2%
24年度	7,900	1,503	7,357	1,492	-	-	-	-	-	-

○ コース別・障害種類別就職率の推移

	受講者数	計	就職率									
			コース別				障害種類別					
			知識・技能	実践能力	ラフ・オープン	援特別学校	身体	知的	精神	発達	その他	
16年度	3,110	39.9%	24.9%	52.8%	-	-	26.0%	37.6%	35.3%	-	33.3%	
17年度	4,544	40.1%	32.4%	60.2%	-	-	33.9%	49.3%	38.5%	-	26.1%	
18年度	4,814	41.3%	34.5%	59.9%	22.8%	-	35.6%	50.1%	39.7%	53.8%	25.0%	
19年度	5,349	41.4%	34.5%	58.3%	32.0%	-	35.6%	52.5%	36.9%	52.9%	50.0%	
20年度	5,781	38.4%	29.6%	59.2%	25.6%	66.0%	30.1%	53.0%	33.1%	30.1%	34.5%	
21年度	6,121	41.6%	31.0%	64.1%	21.9%	79.9%	32.2%	57.3%	37.2%	45.3%	35.9%	
22年度	6,280	43.8%	32.3%	65.4%	25.0%	82.2%	34.9%	57.7%	39.7%	42.9%	23.7%	

予算執行率(66.3%)の分析(主な要因)

- ・ 実施計画どおりの訓練設定ができない → 都道府県の地域部では、障害者訓練の実施機関の開拓が十分でない。訓練経費が低く開拓が難しい。
- ・ 訓練を設定しても、応募者が少なく訓練定員の充足ができない → 都道府県の地域部では、そもそも受講者が少ない。中止となるケースもある。
- ・ 訓練受講の希望がありながら受講実績に結びついていない → 入校選考で不合格(訓練継続できる体力・学力の不足、障害の受容が不十分等)。個々の障害者の障害特性に配慮した訓練設定(訓練カリキュラム、訓練教材、指導技法等)及び訓練環境の整備(スロープ、エレベーター等施設・設備)が困難。訓練実施場所への通所が困難なケースがある。
- ・ 訓練中途の退校者が一定程度いる → 体調的・精神的に訓練継続が困難。

就職率(43.8%)の分析(主な要因)

- ・ コース別の状況をみると、実践能力習得コースが高く、知識・技能習得訓練コースの就職率が低い → 実践能力習得コースの開拓が難しい。
- ・ 知的障害者の就職率が高く、身体障害者、精神障害者の就職率が低い
- ・ 金属・電気・電子系、農林系の就職率が高く、事務系、情報処理系の就職率が低い 受講者数をみると、事務系、その他の受講者が多い → 知的障害者は、その他、サービス系の受講者が多いことが就職率が高い要因。その他は職域開発系の訓練が多い。身体障害者は、事務系の受講者が多いことが就職率が低い要因。精神障害者は、現場から、訓練ノウハウの蓄積が十分ではなく就職に至らないケースが多いとの意見を聞く。
- ・ 各都道府県の現場の主な意見 → 訓練環境の設定に手間がかかると敬遠される、訓練期間が訓練内容、障害特性との関係で短い、精神障害者の受入れについて事業主の十分な理解がない、訓練先が通所できる範囲に確保できない

※ 事業実施フロー図(年間スケジュール)

